

(報告)

取扱 4

**令和2年度WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業
における海外交流等について**

令和2年度WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業における海外交流等について、別紙のとおり報告します。

令和3年1月14日

教育長 橋本幸三

報告

令和2年度WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業 における海外交流等について

令和3年1月14日
高校教育課

1 WWL事業概要

京都府教育委員会では鳥羽高校を拠点校、福知山高校を共同実施校として、全国の高校が活用できるイノベーティブなグローバル人材を育成するAL（アドバンスト・ラーニング）ネットワークの構築を目指し、京都モデル「ALネットワーク京都」を研究開発しており、京都モデルの戦略の1つとして、「グローバルかつ多様な協働学習の機会の創出」を設定し、ICT活用による遠隔教育等に取り組んでいる。

2 令和2年度国内外遠隔地の連携校・機関との交流実績

(1) 京都府WWL高校生サミット（10月24日）

内 容：拠点校を中心に参加者をオンラインで接続し、「持続可能な未来社会の創出」に係る3つのテーマについて、SDGsの目標を踏まえて、グループで議論し提言を発表

参加者：鳥羽高校（16名）、福知山高校（7名）、洛北高校（6名）、秋田県立秋田南高校（4名）、学校法人 九里学園高校（6名）、沖縄県立那覇国際高校（3名）、京都大学大学院生1名

(2) クイーンズランド工科大学遠隔授業（11月11日）

内 容：オンラインで「多文化共生」に係る講義を受講し、レポートを提出

参加者：鳥羽高校、福知山高校の生徒各10名

(3) 株式会社片岡製作所 海外オンライン・インターンシップ（11月13日）

内 容：片岡製作所の台湾事業所とオンラインで接続し、台湾とグローバル企業の事業展開について学習

参加者：鳥羽高校生11名

(4) フランス・ヌヴェール高校とのオンライン交流会（11月20日）

内 容：日本語を学習しているフランスの高校生とオンラインで接続し、グループごとにお互いの趣味や学校生活について交流

参加者：鳥羽高校生21名、ヌヴェール高校生20名程度

(5) 西安交通大学附属中学とのオンライン交流会（12月18日）

内 容：オンラインでお互いの文化や学校について英語で紹介し合い、質疑応答も実施

参加者：鳥羽高校生、西安交通大学附属中学校の生徒各10名

